

関係各位



センチュリー・システムズ株式会社  
代表取締役 田中 邁

## Ubuntu 16.04 LTS (Kernel 4.4.30 以降) 搭載 FutureNet MA-E400 シリーズ発表のご案内

センチュリー・システムズ株式会社(本社:東京都武蔵野市、代表取締役:田中邁、以下:センチュリー・システムズ)は、Ubuntu 16.04 LTS 搭載、Linux マイクロアプライアンスサーバ **FutureNet MA-E400 シリーズ** を発表します。

**FutureNet MA-E400 シリーズ** は、ベースモデル MA-E440 をはじめ、SSD 搭載モデル MA-E440M、マルチキャリア対応 LTE モジュール搭載モデル MA-E440/L などラインナップします。

MA-E300 シリーズの機能を継承しながらも、Qualcomm IPQ8068 (ARMv7 dual core) 1.4GHz を採用し、CPU 性能が約 4.9 倍になり、4 ポート HUB、DMZ を追加、ネットワークサーバとしての機能が大幅に向上しました。

また、Ubuntu 16.04 LTS (Kernel 4.4.30 以降) を採用し、汎用のプログラミング言語 Python3.5.2 など最新安定バージョンのソフトウェアを搭載しています。

更に、ネットワーク管理サービス **WarpLink SPS** と連携することで、設定管理などのすべての機能を専用の Web 画面を通して一元的に行えるため、遠隔から集中管理することができます。

ラインナップは、以下の通りです。

シリーズ/機種名	ハードスペック概要
<b>FutureNet MA-E400 シリーズ</b>	
<a href="#">FutureNet MA-E440</a>	1000BASE-T ポート×2、1000BASE-T 4 ポート HUB ×1、SFP ポート×1
<a href="#">FutureNet MA-E440M</a>	MA-E440 に mSATA SSD モジュール搭載
<a href="#">FutureNet MA-E440/L</a>	MA-E440 にマルチキャリア対応 LTE モジュールを搭載
<a href="#">FutureNet MA-E440M/L</a>	MA-E440 に mSATA SSD モジュールとマルチキャリア対応 LTE モジュールを搭載



【 [FutureNet MA-E440](#) 】

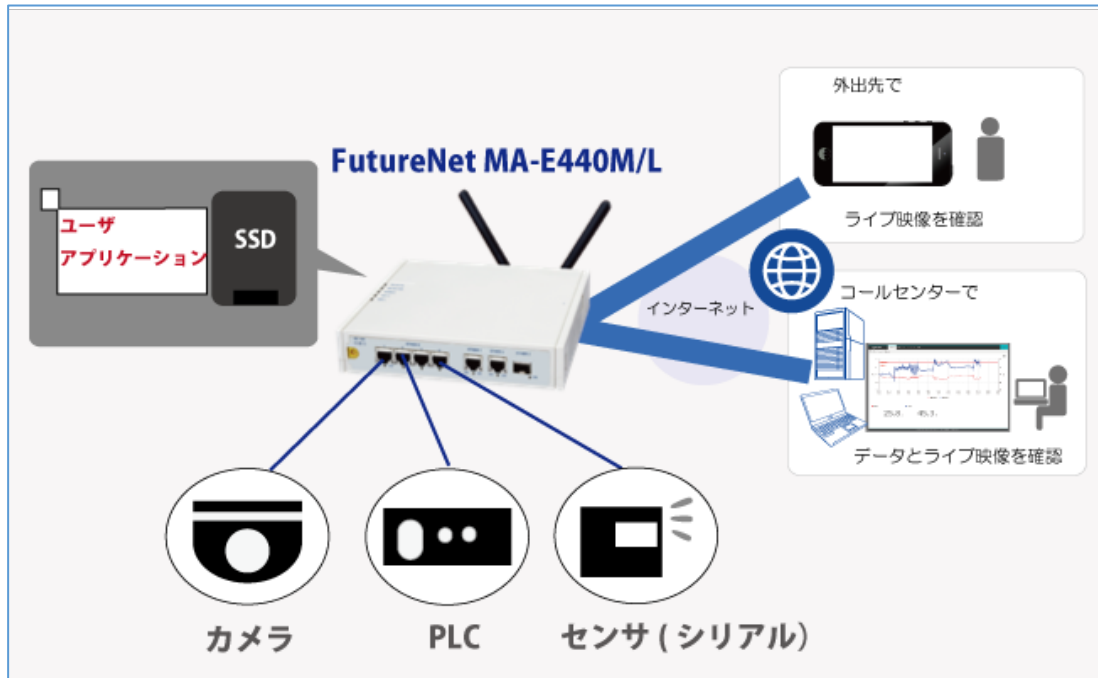


【 [FutureNet MA-E440/L](#) 】

## FutureNet MA-E400 シリーズの利用例

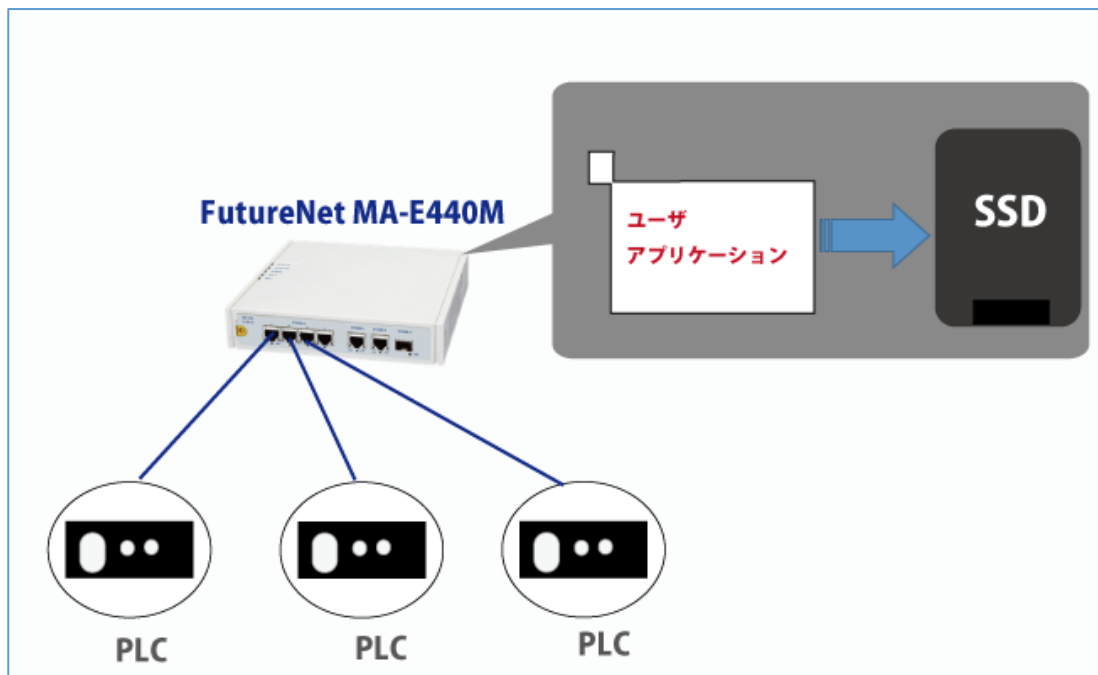
### ■ SSD 内蔵 LTE ルータ(FutureNet MA-E440M/L)

MA-E440M/L は、SSD を内蔵したマルチキャリア LTE 対応の高性能ルータとして御利用いただけますので、大量のデータを形式変換して、クラウド等に送信することができます。また、SSD に蓄積されたデータを外部から参照することも可能です。



### ■ データ形式変換して SSD に蓄積 (FutureNet MA-E440M)

MA-E440M を用いれば、工場内の複数の PLC の SD カードや FC カードに蓄積されたデータを形式変換して集中管理することが可能になります。



**/// 価格、販売等 ///**

■ **FutureNet MA-E440**

価格: オープンプライス

販売開始: 2018年 1月(予定)

■ **FutureNet MA-E440M MA-E440/L MA-E440M/L**

価格: オープンプライス

販売開始: 受注生産

■ **FutureNet MA-E400 シリーズ** 添付品等

標準添付:

- 製品保証書
- ACアダプタ

ダウンロード提供:

- 製品マニュアル

オプション(別売):

- 壁掛け金具
- 縦置き台(VTK-1)
- SFP対応オプション(1000BASE-SX-SFP、1000BASE-LX-SFP、1000BASE-T-SFP)
- 外付けアンテナ(MA-E440/L MA-E440M/Lのみ)

※ モバイル通信をおこなう際には外付けアンテナ(別売)と回線契約が別途必要です。  
外付けアンテナは用途(室内利用、屋外利用等)に応じて各種の製品が選択できます。  
製品、外付けアンテナのご購入、およびモバイル回線のご契約については弊社もしくは弊社代理店様  
にお問い合わせください。

製品名		MA-E440 / MA-E440M	MA-E440L / MA-E440M/L
CPU		Qualcomm IPQ8068 (ARMv7 dual core) 最大 1.4GHz(動的可変 384Mz ~ 1.4GHz)	
メモリ構成		NAND FLASH:SLC NAND FLASH MEMORY 512MByte DRAM:DDR3-SDRAM 1GByte (533MHz)	
インター フェース	イーサネット 0	10BASE-T <sub>e</sub> /100BASE-TX/1000BASE-T × 4 ポート RJ-45 コネクタ、Auto Negotiation、Full/Half Duplex、Auto MDI/MDIX	
	イーサネット 1	10BASE-T <sub>e</sub> /100BASE-TX/1000BASE-T × 1 ポート RJ-45 コネクタ、Auto Negotiation、Full/Half Duplex、Auto MDI/MDIX	
	イーサネット 2	10BASE-T <sub>e</sub> /100BASE-TX/1000BASE-T × 1 ポート RJ-45 コネクタ、Auto Negotiation、Full/Half Duplex、Auto MDI/MDIX	
	イーサネット 3	1000BASE-SX/1000BASE-LX/1000BASE-T × 1 ポート SFP Full Duplex	
	USB0	USB2.0 Host Interface × 1 ポート USB Type A USB2.0 High Speed 供給電流制限 1A	
	USB1 (CONSOLE)	USB2.0 Full-Speed Device (USB-Serial ポート) 1 ポート USB micro B FTDI FT234XD (TXD/RXD、ハードフロー制御無し) 115.2kbps	
	RS-232	RS-232 ポート × 1 ポート D-Sub9 (Male) モデム制御信号: TXD/RXD/DTR/DSR/RTS/GTS/CD/RI 最大転送速度: 115.2kbps	
	SD Card	SDカードスロット × 1スロット 最高転送速度 24MByte/秒 (SDモード4bitデータ)	
	SSD Module	(MA-E440M モデルのみ) mSATA SSD Module 1スロット(SATA 3.0内部接続) PCI Express mini card slot 最大転送速度: 600MByte/sec	(MA-E440M/L モデルのみ) mSATA SSD Module 1スロット(SATA 3.0内部接続) PCI Express mini card slot 最大転送速度: 600MByte/sec
モバイル通信モジュール		—	AM Telecom AMM570 LTE: 800/ 900/ 2100MHz 下り: 150Mbit/s、上り: 50Mbit/s(理論最大値)
外部アンテナコネクタ		—	SMAコネクタ × 2
オンボードセンサ		温度センサ、電圧センサ(PMICによる電圧監視)	
スイッチ	INIT スイッチ	初期化用プッシュスイッチ	
	CONFIG スイッチ	モード設定用 4bit DIP スイッチ	
サイズ	外觀寸法(突起物を除く)	195.0mm[W] × 187.0mm[D] × 40.0mm[H]	
重量		約 620g	
電源	DC 入力電圧	DC12V(AC アダプタ) DC9V~DC15V(入力電圧範囲)	
	消費電力	最大 約 9.2W (AC100V) 待機 約 6.6W (AC100V)	最大 約 10.0W (AC100V) 待機 約 5.6W (AC100V)
	AC アダプタ仕様	入力電圧 AC100V~AC240V 周波数 50Hz/60Hz IEC60320 準拠	
	電源コネクタ	DC ジャック(EIAJ4、φ5mm)	
	バックアップ電源	カレンダー機能用リチウム電池(ソケット式)(BR1225A 使用時/保持時間 約 5 年)	
環境条件	動作環境	-20°C~+40°C	
		湿度: 10%~90%(結露なきこと)	
	冷却方式	自然空冷(ファンレス)	
適合規格 規制・ 認証	電波障害自主規制	VCCI-Class A 適合	
	安全基準	社内基準、IEC 60950 準拠	
	静電気放電イミュニティ	IEC 61000-4-2 (JIS C61000-4-2) レベル 3	
	放射無線周波数電磁界イミュニティ	IEC 61000-4-3 (JIS C61000-4-3) レベル 2	
	電氣的ファストトランジェント/パーストイミュニティ	IEC 61000-4-4 (JIS C61000-4-4) レベル 2	
	サージイミュニティ	IEC 61000-4-5 (JIS C61000-4-5) レベル 2	
	伝導妨害イミュニティ	IEC 61000-4-6 (JIS C61000-4-6) レベル 3	

※これらの仕様は予告なく変更されることがあります。

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発等ネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発を行う開発会社です。FutureNet®ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス (WarpLink®)の提供をしています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイ等の装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供等で幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14 穴戸ビル
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容 : ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

FutureNet MA-E400 シリーズに関するご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール [press-release@centurysys.co.jp](mailto:press-release@centurysys.co.jp)

ホームページ <https://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

- 
- ・ 「FutureNet®」、「WarpLink®」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
  - ・ その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。